



ぼらんていあ通信

7月号
通巻 No.464

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2020年7月21日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



「ヤングさん」の対応ぶりに好感を抱く！ ウェルネス2階にある「レストランあい」を訪問



ボランティア活動をしている人なら、あじさい会館横ウェルネス2階にあるレストラン「あい」を利用したことがあるでしょう。そこで、ここがどのような運営になっているのか、管理者の九嶋園子さんに伺いました。

★開店したのはいつですか？
「平成5年（1993年）7月あじさい会館1階で障害者福祉的就労協力事業所『喫茶あい』としてスタートし、平成12年にウェルネスがみはらの2階へ移転。メニューも変えて『ふれあいヘルシーレストランあい』をオープン、平成26年には就労継続支援

型事業所『レストランあい』となり今日に至っています。

★どのような方が働いているのですか？
「知的障害を持つ10名（定員）の方が働いています。就労継続支援A型事業所ですから、働くみなさんと雇用契約を結ぶ。

社会人としてあるべき姿を、日々の通勤、身だしなみ、言葉遣い、仕事に対する姿勢を学びながら「あい」の仕事に携わっています。私たちはみなさんを「ヤングさん」と呼んでいます。働くことへの意欲も意識も高く、自立した生活を送っています。」

★仕事での楽しみや嬉しいことなど感想を伺えますか？
「休憩時間にみんなとおしゃべりするの

が楽しいです。お客さんと接して、ありがとうと言われると、嬉しくやりがいを感じるところが多いです。また洗いやフロア掃除をもっと早くやれるようにしたい。仕事の目標も立っています。」

★職員さんは何人くらいいますか？
「12名います。ヤングさんの業務支援の

他、生活面の支援等も担っています。調理、シ打ちや配達担当の手配などの業務をこなしています。」

★コロナ自粛時はいかがでしたのですか？
「行政関係からの注文が激減しましたが、今までのメニューで売切れていたお弁当

をご用意してお出しできるようになり、お店が賑わっています。また、勿論、椅子の配置、消毒の徹底など感染予防防止には万全を期しております。」

「余暇活動としての計画している行事が縮小や中止となり、残念に思っています。」

★運営母体は一般社団法人「相模原市手をつなぐ育成会」とありますが、どのような会なのですか？

「昨年『創立60周年記念誌』を発行しましたので歴史は古いです。そして流れをあげてみます。

・昭和34年 特殊学級の先生方を中心に「相模原市手をつなぐ親の会」設立

・昭和48年 親の手で自主運営開始

・昭和49年～57年 地域作業所約10事業所開設、平成元年に

は、そのほとんどが自主運営や成長を遂げる

平成80年 「社団法人相模原市手をつなぐ育成会」になる

平成25年 一般社団法人に移行

★ヘルシーレストランとは何ですか？
「市健康増進課が推進している健康への志

援店に加盟しています。食塩相当量、野菜量、カロリーなどという規定をクリアした健康メニューを提供するのが条件です。」



「レストランあい」の玄関と店内



次ページに続く

★食べる側は安心ですが、規定があるというくらい大変では。

「お味噌汁が別売りになったり、デザートの種類など影響がメニューの種類が減り品数が少なくなりました。材料についても制約があるので財政的に厳しいこともあります」

最後に丸嶋さんは、「あじさい会館や市役所等での集まりの際には、テリバーも承りますので、ぜひご利用ください！『ヤングなぞ』が心を込めてお届けします」ぜひ加えられた。お料理を持つスタッフはただいまのパンクな私たちの「JOURNALS」の言葉と、きびきびとしたねいな対応が印象に残りました。「レストランあい」を大いに利用しましょう！

お忙しい中、取材にご協力へ

いただいたお言葉を感謝します。

あしがらひいれごまごた。 (三崎)

